



システム要件・稼働環境
2026-06-01 版

<注意>

1. 本書の内容は、製品の改良などにより将来予告なしに変更することがあります。
2. 本書の商品性、特定目的に対する適合性に関して、キヤノンITソリューションズ株式会社は保証いたしません。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一記載内容の誤りなどお気づきの点がございましたら、キヤノンITソリューションズ株式会社までご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、3項にかかわらずキヤノンITソリューションズ株式会社は責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 記載された社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
6. 製品サポート期間内であっても、OS、DBMS、その他、製品の動作に関わる他社製品のメーカーサポートが終了している場合、それに起因する不具合の対応はいたしかねますのでご了承ください。

2026-06-01版 SuperStream-NX 統合会計/固定資産管理 システム要件
(On Premise)

2026年8月3日

■データベースサーバ

OS	データベースのシステム要件に適合していること
プロセッサ	
メモリ	
ネットワークアダプタ	
100BASE以上、1000BASE推奨	
DBMSとしてマイクロソフト社製品を使用する場合	
データベース	Microsoft SQL Server 2017
	Microsoft SQL Server 2019
	Microsoft SQL Server 2022
	Microsoft SQL Server 2025
DBMSとしてオラクル社製品を使用する場合	
	Oracle Database 19c ※1 ※2
動作可能な.NET Framework	Microsoft .NET Framework 4.x (4.7.2～)
その他	Oracle Cloud: Compute (OS:Windows)、BaseDB (DB:Oracle Database)
	AWSサービス: Amazon EC2 (OS:Windows)、Amazon RDS (DB:Oracle Database)
	Microsoft Azure: Virtual Machines
※1 Oracle Database 19.30 で動作確認を行っています。	
※2 19.8～19.12はOracle不具合のため一部の機能が動作しません。 初期化パラメータの変更が必要です「alter system set “_fix_control” = ‘21800590:off’;」	

■アプリケーションサーバ

	Microsoft Windows Server 2016
	Microsoft Windows Server 2019
	Microsoft Windows Server 2022
	Microsoft Windows Server 2025
	※Server Core, Nano Serverを除く
ソフトウェア	Internet Information Service
プロセッサ	2コア以上のx64プロセッサ
メモリ	8ギガバイト以上(16ギガバイト以上を推奨)
ストレージ	5ギガバイト以上の空き容量(アプリケーション)
ネットワークアダプタ	100BASE以上、1000BASE推奨
アプリケーション実行環境	Microsoft .NET Framework 4.x (4.7.2～) ※証憑管理オプションおよび証憑管理e文書対応オプション利用時は .NET Framework 3.5 が必要です。
必要ソフトウェア	Oracle Database にバージョンを合わせた64ビット版のOracle Client (DBMSとしてOracle を使用する場合)
帳票出力エンジン	Super Visual Formade Ver.9.2 Service Pack 11 ※JAVA11への入れ替えが必要です。 ※Eclipse Temurin JDK(旧AdoptiumOpenJDK) with Hotspot 11 (64bit) でのみ動作を確認しています。 (11.0.29以上を推奨)
	※同梱されているApache Tomcatに脆弱性があるため、APサーバーをインターネットに公開している場合は 必要に応じて同梱のApache Tomcat 9.0.91パッチを適用するか、 利用しているポートをファイアウォール等で接続できないようにブロックしてください。 対象のポート番号は、44090・44091・44092 になります。
その他	HTTPバージョン1.1(Transfer-Encoding: Chunkedを利用)に対応しています。
	※HTTPバージョン1.0以下の環境では動作しませんのでご注意ください。

- ・Microsoft Windows Server 2016は、2027年1月12日で稼働環境から外れます。
- ・Microsoft Windows Server 2016の場合、Microsoft SQL Server 2025は対象外です。
- ・Microsoft Windows Server 2022の場合、Oracle19.13以降の対応となります。
- ・Microsoft Windows Server 2025の場合、Oracle19.27以降の対応となります。
- ・Microsoft Windows Server 2025の場合、Microsoft SQL Server 2017は対象外です。
- ・Microsoft Windows Server 2025の場合、証憑管理オプション、証憑管理e文書対応オプションのQRコード認識・ファイル分割プログラムはご利用いただけません。

■クライアント

OS	Microsoft Windows 11
リモートデスクトップサービス (RemoteAppも含む)	Microsoft Windows Server 2016 Microsoft Windows Server 2019 Microsoft Windows Server 2022 Microsoft Windows Server 2025
プロセッサ	2コア以上のx64プロセッサ
メモリ	8ギガバイト以上(16ギガバイト以上を推奨)
ストレージ	5ギガバイト以上の空き容量(アプリケーション)
ネットワークアダプタ	100BASE以上(クライアントとアプリケーションサーバー間の実効速度8メガビット/秒以上)
ディスプレイ	1280×800以上の解像度(1600×900以上を推奨)
アプリケーション実行環境	Microsoft .NET Framework 4.x(4.7.2以上)
ソフトウェア	Adobe Reader / Adobe Acrobat Microsoft Excel(ストアアプリ版、Webアプリ版を除く)

- ・タッチパネルPCについては、マウス操作でのみ動作を確認しています。
- ・日本語入力システムについては、Microsoft IMEでのみ動作を確認しています。
- ・マニュアル検索については、インターネット接続が必要でGoogle Chrome / Microsoft Edgeで動作を確認しています。
- ・Windowsのカレンダーは西暦のみ動作を確認しています。
- ・Microsoft Edge WebView2 Runtimeのインストールが必要です。
Microsoft Edge WebView2 Runtimeは、Microsoft Windows 11 ではMicrosoft Edgeの更新プログラムにより自動インストールされます。
Microsoft Windows Server では自動でインストールされないため手動でのインストールが必要です。

■その他

サーバーOS	日本語のみ対応しています。
クライアントOS	日本語、英語、中国語、タイ語に対応しています。※固定資産は日本語のみ対応

■データベースサーバ

OS	データベースのシステム要件に適合していること
プロセッサ	
メモリ	
ストレージ	10ギガバイト以上の空き容量推奨
ネットワークアダプタ	100BASE以上、1000BASE推奨
データベース ※1	Oracle Database 19c ※2 ※3
動作可能な.NET Framework	Microsoft .NET Framework 4.x (4.7.2～)
その他	Oracle Cloud: Compute (OS: Windows)、BaseDB (DB: Oracle Database)
	AWSサービス: Amazon EC2 (OS: Windows)、Amazon RDS (DB: Oracle Database)
	Microsoft Azure: Virtual Machines

- ※1 NX人事給与データベースのキャラクタセットはJA16SJISTILDEで設定する必要があります。
- ※2 Oracle Database 19.30 で動作確認を行っています。
- ※3 19.8～19.12はOracle不具合のため一部の機能が動作しません。
初期化パラメータの変更が必要です「alter system set "_fix_control" = '21800590:off';」

■アプリケーションサーバ(人事・給与)

	Microsoft Windows Server 2016
	Microsoft Windows Server 2019
	Microsoft Windows Server 2022
	Microsoft Windows Server 2025
	※Server Core, Nano Serverを除く
ソフトウェア	Internet Information Service
プロセッサ	2コア以上のx64プロセッサ
メモリ	8ギガバイト以上(16ギガバイト以上を推奨)
ストレージ	5ギガバイト以上の空き容量(アプリケーション)
ネットワークアダプタ	100BASE以上、1000BASE推奨
アプリケーション実行環境	Microsoft .NET Framework 4.x (4.7.2～)
必要ソフトウェア	Oracle Database にバージョンを合わせた64ビット版のOracle Client
帳票出力エンジン	Super Visual Formade Ver.9.2 Service Pack 11
	※JAVA11への入れ替えが必要です。
	※Eclipse Temurin JDK(旧AdoptiumOpenJDK) with Hotspot 11 (64bit) でのみ動作を確認しています。 (11.0.29以上を推奨)
その他	※同梱されているApache Tomcatに脆弱性があるため、APサーバーをインターネットに公開している場合は必要に応じて同梱のApache Tomcat_9.0.91パッチを適用するか、 利用しているポートをファイアウォール等で接続できないようにブロックしてください。 対象のポート番号は、44090・44091・44092 になります。
	HTTPバージョン1.1(Transfer-Encoding: Chunkedを利用)に対応しています。
	※HTTPバージョン1.0以下の環境では動作しませんのでご注意ください。

- ・Microsoft Windows Server 2016は、2027年1月12日で稼働環境から外れます。
- ・Microsoft Windows Server 2022の場合、Oracle19.13以降の対応となります。
- ・Microsoft Windows Server 2025の場合、Oracle19.27以降の対応となります。

■アプリケーションサーバ(人事諸届・照会)

	Microsoft Windows Server 2016
	Microsoft Windows Server 2019
	Microsoft Windows Server 2022
	Microsoft Windows Server 2025
アプリケーションサーバ	Oracle WebLogic Server 12.2.1.4 ※人事諸届・照会(PC版)のみ対象となります。 Oracle WebLogic Server 14.1.1.0 Oracle WebLogic Server 14.1.2.0 Apache Tomcat 9.0.112 ※Apache TomcatはLAN環境での利用を想定しています。 ※外部ネットワークに公開されている環境ではOracle WebLogic Serverの利用を想定しています。 ※人事諸届・照会(PC版)のみ対象となります。
必要ソフトウェア	Apache Tomcatを利用する場合は、Eclipse Temurin JDK(旧AdoptiumOpenJDK) 11 (64bit) が必要です。 ※11.0.29以上を推奨
アプリケーション実行環境	Microsoft .NET Framework 4.x (4.7.2～)
プロセッサ	2コア以上のx64プロセッサ
メモリ	8ギガバイト以上
ストレージ	5ギガバイト以上の空き容量(アプリケーション)

■クライアント

OS	Microsoft Windows 11
リモートデスクトップサービス (RemoteAppも含む)	Microsoft Windows Server 2016 Microsoft Windows Server 2019 Microsoft Windows Server 2022 Microsoft Windows Server 2025
プロセッサ	2コア以上のx64プロセッサ
メモリ	8ギガバイト以上(16ギガバイト以上を推奨)
ストレージ	5ギガバイト以上の空き容量(アプリケーション)
ネットワークアダプタ	100BASE以上(クライアントとアプリケーションサーバー間の実効速度8メガビット/秒以上)
ディスプレイ	1280×800以上の解像度(1600×900以上を推奨)
アプリケーション実行環境	Microsoft .NET Framework 4.x(4.7.2以上)
ソフトウェア	Adobe Reader / Adobe Acrobat Microsoft Excel(ストアアプリ版、Webアプリ版を除く)、Microsoft Word(ストアアプリ版、Webアプリ版を除く)
その他	ブラウザ(人事諸届・照会) : Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox
・タッチパネルPCについては、マウス操作でのみ動作を確認しています。	
・日本語入力システムについては、Microsoft IMEでのみ動作を確認しています。	
・マニュアル検索については、インターネット接続が必要でGoogle Chrome / Microsoft Edgeで動作を確認しています。	
・Windowsのカレンダーは西暦のみ動作を確認しています。	
・Microsoft Edge WebView2 Runtimeのインストールが必要です。	
Microsoft Edge WebView2 Runtimeは、Microsoft Windows 11 ではMicrosoft Edgeの更新プログラムにより自動インストールされます。	
Microsoft Windows Server では自動でインストールされないため手動でのインストールが必要です。	

■人事諸届・照会(モバイル版)OS・機種

OS	iOS 26.4 Android 16
ディスプレイ	375×の解像度 ※1 ※2
対応ブラウザ	Safari (iOS) Chrome (android)
その他	基本的に動作環境は各OS の推奨スペックに準拠
※1 375以下の解像度の場合、見切れる場合があります。	
※2 タブレットは対象外です。	

■その他

サーバーOS	日本語のみ対応しています。
クライアントOS	日本語のみ対応しています。

2026-06-01版 SuperStream-NX 勤怠管理 システム要件

2026年8月3日

■クライアント

OS	Microsoft Windows 11
プロセッサ	2コア以上のx64プロセッサ
メモリ	8ギガバイト以上
ストレージ	5ギガバイト以上の空き容量(アプリケーション)
ディスプレイ	1280× の解像度 ※1
対応ブラウザ	Microsoft Edge 、Google Chrome、Mozilla Firefox ※2

その他 CPU、HDD の推奨値はありませんが、基本的に動作環境は各OS の推奨スペックに準拠

※1 1280以下の解像度の場合、見切れる場合があります。

※2 ブラウザはいずれも最新バージョンを推奨

■モバイル

OS	iOS17以降(iOS17、iOS18、iOS26) Android 13以降
ディスプレイ	375× の解像度 ※1※2
対応ブラウザ	Safari (iOS) Chrome (android)

その他 基本的に動作環境は各OS の推奨スペックに準拠

※1 375以下の解像度の場合、見切れる場合があります。

※2 タブレットは対象外です。

■その他

クライアントOS	日本語のみ対応しています。
----------	---------------

2026-06-01版 SuperStream-NX グループ経営管理 システム要件

2026年8月3日

■分析集計データベース

OS	
プロセッサ	データベースのシステム要件に適合していること
メモリ	
ネットワークアダプタ	100BASE以上、1000BASE推奨
データベース	Oracle Database 19c ※1
その他	AWSサービス: Amazon EC2(OS:Windows)、Amazon RDS(DB:Oracle Database) Oracle Cloud: Compute(OS:Windows)、BaseDB(DB:Oracle Database) Microsoft Azure: Virtual Machines

※1 Oracle Database 19.30 で動作確認を行っています。

■データベースサーバ

OS	Microsoft Windows Server 2016 Microsoft Windows Server 2019 Microsoft Windows Server 2022 Microsoft Windows Server 2025 ※Standard、Datacenter、Essentials に対応しています (Server Core を除く)。
プロセッサ	64ビット CPU (Itaniumを除く) 2ギガヘルツ以上 ※2コア以上推奨
メモリ	8ギガバイト以上を推奨 ※データ量に応じてサイジングする必要があります。
ストレージ	システムドライブに 200 メガバイト以上(推奨500 メガバイト以上)の空きが必要です。 実行モジュール格納領域としてインストール先ドライブに1.2ギガバイト以上と、内部データベースファイル領域、内部データベースファイル領域の4倍以上の空きが必要です。 ※内部データベースファイル領域は、CSV換算した際の分析対象データベース容量の4～8倍の領域を推奨します。
必要なソフトウェア	Microsoft Visual C++ 2015-2022 再頒布可能パッケージ(x86)同梱 Microsoft Visual C++ 2015-2022 再頒布可能パッケージ(x64)同梱 Microsoft .NET Framework 4.x(4.7.2以上) Eclipse Temurin JDK (旧AdoptiumOpenJDK) 11 (64ビット 11.0.22以上) Oracle Client 19c (64ビット)
ネットワークプロトコル	TCP/IP (100BASE以上、1000BASE推奨)
その他	AWSサービス: Amazon EC2(OS:Windows) Oracle Cloud: Compute(OS:Windows) Microsoft Azure: Virtual Machines

■インメモリサーバ（インメモリオプション利用時）

OS	Microsoft Windows Server 2016
	Microsoft Windows Server 2019
	Microsoft Windows Server 2022
	Microsoft Windows Server 2025
	※Standard、Datacenter、Essentials に対応しています（Server Core を除く）。
プロセッサ	64ビット CPU（Itaniumを除く）2ギガヘルツ以上
メモリ	32ギガバイト以上 ※データ量に応じてサイジングする必要があります。
ストレージ	システムドライブに200 メガバイト以上（推奨500 メガバイト以上）の空きが必要です。 実行モジュール格納領域としてインストール先ドライブに600 メガバイト以上が必要です。
必要なソフトウェア	Microsoft Visual C++ 2015–2022 再頒布可能パッケージ（x64）同梱
ネットワークプロトコル	TCP/IP（100BASE以上、1000BASE推奨）

■アプリケーションサーバ

OS	Microsoft Windows Server 2016
	Microsoft Windows Server 2019
	Microsoft Windows Server 2022
	Microsoft Windows Server 2025
	※Windows Server はStandard、Datacenter、Essentials に対応しています（Server Core を除く）
プロセッサ	Intel Xeon プロセッサ（1ギガヘルツ以上）※2コア以上推奨
メモリ	16ギガバイト以上
ストレージ	システムドライブに200メガバイト以上（500メガバイト以上）の空きが必要です。 アプリケーションサーバの実行モジュール格納領域としてインストール先ドライブに1ギガバイト以上の空き容量が必要です。 GEOアイテムで使用する場合は、別途約5.5ギガバイト以上の空き容量が必要です。 RC Serviceの実行モジュール格納領域としてインストール先ドライブに512メガバイト以上の空き容量が必要です。 ※キャッシュデータなどで使用されるサイズは除きます。
必要なソフトウェア	Eclipse Temurin JDK（旧AdoptiumOpenJDK）11（64ビット） OpenJDK 11（64ビット） Oracle Java 11（64ビット） ※コマンドツールを使用する場合 Adobe Reader DC ※Adobe Readerは、PDF出力されたボードやチャートを閲覧するときに必要です。 Webブラウザを使用する（Serverで設定や操作を行う）場合 ・Google Chrome ※推奨します。 ・Microsoft Edge
対応ブラウザ	Google Chrome ※推奨します。最新バージョンから2バージョン前まで対応します。 Microsoft Edge ※バージョンによっては特定の機能が対応していない可能性があります。
ネットワークプロトコル	TCP/IP（100BASE以上、1000BASE推奨）
その他	AWSサービス：Amazon EC2（OS：Windows） Oracle Cloud：Compute（OS：Windows） Microsoft Azure：Virtual Machines ※製品ではSSLに対応していないため、VPNもしくは専用線の利用を推奨しています。

■クライアント

OS	Microsoft Windows 11 Pro、Education、Enterprise (64ビット) ※Windows 11は バージョン 25H2以下に対応しています。
プロセッサ	1ギガヘルツ以上を推奨
メモリ	2ギガバイト以上を推奨
ストレージ	512メガバイト以上の空き容量 「Agent」をインストールする場合は、別途、システムドライブに500メガバイト以上の空きが必要です。
必要ソフトウェア	Adobe Reader DC Google Chrome ※推奨します。最新バージョンから2バージョン前まで対応します。 Microsoft Edge ※バージョンによっては特定の機能が対応していない可能性があります。
ディスプレイ	1280×800以上の解像度（1600×900以上を推奨）
その他	CPU、HDD の推奨値はありませんが、基本的に動作環境は各OS の推奨スペックに準拠

■ Mobileアプリケーション(iOS)

OS	iPadOS 13以降 iOS 12以降 (13以降を推奨)
ストレージ	100メガバイト以上の空き容量
サポート対象モバイル端末	Apple iPad mini2以降 (第5世代以降を推奨) Apple iPad Air以降 (第6世代以降を推奨) Apple iPhone 7以降
対応ブラウザ	最新バージョンの「Safari」にのみ対応しています。
その他	上記の環境であっても、バックグラウンドで実行されているサービスや特定のアプリケーションが、Mobileの動作に影響を与える場合があります。

■ Mobile(Windows)

OS	Microsoft Windows 11 Pro、Education、Enterprise (64ビット) ※Windows 11は バージョン 25H2以下に対応しています。
ストレージ	100メガバイト以上の空き容量
対応ブラウザ	Google Chrome ※推奨します。最新バージョンから2バージョン前まで対応します。 Microsoft Edge ※バージョンによっては特定の機能が対応していない可能性があります。
その他	スレートPC(タブレットPC)が対象です。

■その他

サーバーOS	日本語のみ対応しています。
クライアントOS	日本語のみ対応しています。

2025-06-01版 SuperStream-NX システム連携ツール システム要件

2026年8月3日

2026-06-01版 SuperStream-NX システム連携ツールは2026年後半にリリース予定です。
新バージョンがリリースされるまでは、2025-06-01版(Ver.4.5 SP1)をご利用ください。

■サーバ・実行用クライアント

OS	Windows Server 2016 Essential/Standard/Datacenter Edition ※1	
	Windows Server 2019 Essential/Standard/Datacenter Edition	
	Windows Server 2022 Essential/Standard/Datacenter Edition	
プロセッサ	OSが推奨するシステム要件を満たす64bit(x64)プロセッサ	
メモリ	サーバ:2GB 以上の空き容量	実行用クライアント: 256MB 以上の空き容量
ストレージ	サーバ:2GB 以上の空き容量	実行用クライアント: 500MB 以上の空き容量
その他	AWSサービス: Amazon EC2 (OS: Windows) Oracle Cloud: Compute (OS: Windows) Microsoft Azure: Virtual Machines ※VPNもしくは専用線での利用を推奨します。 クラウド接続オプションを廃止しました。	

- ・CLI バッチが非推奨となりました。次バージョン以降で削除されますので、非対話モードへ移行してください。
- ・Windows Server 2025には対応しておりません。
- ※1 Windows Server 2016は、2027年1月12日で稼働環境から外れます。

■開発用クライアント

OS	Windows 11 Pro/Enterprise [x64]	
	Windows Server 2016 Essential/Standard/Datacenter Edition ※1	
	Windows Server 2019 Essential/Standard/Datacenter Edition	
プロセッサ	Windows x64版 : OSが推奨するシステム要件を満たす64bit(x64)プロセッサ	
	512MB 以上の空き容量	
	1GB 以上の空き容量	
ストレージ	1280x960 ピクセル以上	
ディスプレイ	動作可能な.NET Framework	
動作可能な.NET Framework	Microsoft .NET Framework 4.8以上 (但し、Studio for Web のみ)	

- ※1 Windows Server 2016は、2027年1月12日で稼働環境から外れます。
- ・Studio for Desktopが非推奨となりました。次バージョン以降で削除されますので、Studio for Web を 使用するようになしてください。
- ・CLI バッチが非推奨となりました。次バージョン以降で削除されますので、非対話モードへ移行してください。
- ・Windows Server 2025には対応しておりません。

■リポジトリDB

Oracle Base Database Service 23ai / 19c
Oracle Database 19c
Microsoft SQL Server 2022 / 2019 / 2017
IBM DB2 for Linux, UNIX, and Windows 11.5
PostgreSQL 16 / 15
MySQL 8.4
Amazon RDS for Oracle 19c
Amazon RDS for SQL Server 2022 / 2019 / 2017
Amazon RDS for PostgreSQL 16 / 15
Amazon RDS for MySQL 8 ※1
Azure SQL Database

・Microsoft SQL Server 2025 / Amazon RDS for SQL Server 2025 には対応しておりません。
※1 Amazon RDS for MySQL 8は、2026年7月31日で稼働環境から外れます。

■その他

サーバーOS 日本語、英語版に対応しています。
クライアントOS 日本語、英語版に対応しています。

- ・リポジトリDBは、当製品のコンポーネントには含まれておりません。別途ご用意ください。
- ・記載された社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・SuperStream-NX システム連携ツールを仮想環境で使用する場合、以下のすべての条件を満たす必要があります。
 1. SuperStream-NX システム連携ツールの稼働OSが、前項の「対応 OS」に含まれるOSである
 2. SuperStream-NX システム連携ツールの稼働OSが、仮想環境がサポートしているOSである
 3. 仮想環境が、ホスト型、またはハイパーバイザー型である※上記条件をすべて満たした場合、サポート対象となります。ただし、特定の仮想環境に依存する問題が発生した場合、SuperStream-NX システム連携ツールの対応ではなく、仮想環境の変更を含めた対応が必要となる可能性があります。
- ・認証プロキシサーバには対応していません。

■Identify Provider(IdP)

認証機関	Azure Active Directory (Microsoft Entra ID)
------	---

■シングルサインオンサーバ

OS	
ソフトウェア	
プロセッサ	
メモリ	統合会計または人事給与のアプリケーションサーバに準拠
HDD空き容量	
ネットワークアダプタ	
アプリケーション実行環境	
必要ソフトウェア	

※シングルサインオンサーバはアプリケーションサーバと同一筐体に構築可能です。

2026-06-01版 SuperStream-NX 稼働環境（On Premise）

2026年8月3日

稼働環境の確認は各製品のマニュアルも併せてご確認ください。 下表の凡例 ○:稼働可能 - :対象外

データベースサーバOS

	Windows Server 2016	Windows Server 2019	Windows Server 2022	Windows Server 2025
統合会計	※1	※1	※1	※1
電債管理システム	※1	※1	※1	※1
手形管理システム	※1	※1	※1	※1
ファクタリングシステム	※1	※1	※1	※1
電債オプション	※1	※1	※1	※1
証憑管理オプション	※1	※1	※1	※1
証憑管理e文書対応オプション	※1	※1	※1	※1
スーパーインターフェース	※1	※1	※1	※1
駅すばあとオプション	※1	※1	※1	※1
従業員モバイルオプション	※1	※1	※1	※1
AI-OCR(請求書)	※1	※1	※1	※1
AI-OCR(請求書明細)	※1	※1	※1	※1
銀行マスタAPI	※1	※1	※1	※1
取引先マスタAPI	※1	※1	※1	※1
銀行口座API	※1	※1	※1	※1
デジタルインボイスオプション	※1	※1	※1	※1
固定資産管理	※1	※1	※1	※1
建設仮勘定管理オプション	※1	※1	※1	※1
グループ経営管理 ※2				
集計DBサーバ ※3	※1	※1	※1	※1
DBサーバ	○	○	○	○
Administrative Tools	○	○	○	○
Development Kit	○	○	○	○
Cloud Hub Server	○	○	○	○
インメモリオプションサーバ ※4 ※5	○	○	○	○
人事管理/給与管理	※1	※1	※1	※1
銀行マスタAPI	※1	※1	※1	※1
人事諸届・照会	※1	※1	※1	※1
勤怠管理	-	-	-	-
システム連携ツール ※6	-	-	-	-

※1 下記「DBMS」で稼働可能となっている各DBMSのシステム要件(64ビット版)に適合している環境となります。

※2 OSIについては、日本語を前提としています。詳細はグループ経営管理のインフラガイドを参照してください。

※3 NX統合会計と連携する集計DBサーバは、NX統合会計DBサーバー内に配置することを前提とします。

※4 インメモリ機能は、可能な限り多くのCPU Coreを利用する仕組みで設計されています。
データベースサーバと共存するとCPUリソースが不足する可能性があるため、別サーバでの構築を推奨します。

※5 マザーボードは、1CPUソケット、または2CPUソケットを推奨します。
4CPUソケットの場合は、メモリへアクセスコストが発生し、パフォーマンスが劣化する可能性があります。

※6 システム連携ツールで、リボジトリDBを使用する場合に使用可能なDBについては、
システム連携ツールのインストールガイドを参照してください。

Oracle ※1 ※2 19c

統合会計	○
電債管理システム	○
手形管理システム	○
ファクタリングシステム	○
電債オプション	○
証憑管理オプション	○※3
証憑管理e文書対応オプション	○※3
スーパーインターフェース	○
駅すばあとオプション	○
従業員モバイルオプション	○
AI-OCR(請求書)	○
AI-OCR(請求書明細)	○
銀行マスタAPI	○
取引先マスタAPI	○
銀行口座API	○
デジタルインボイスオプション	○
固定資産管理	○
建設仮勘定管理オプション	○
グループ経営管理	○
人事管理/給与管理	○
銀行マスタAPI	○
人事諸届・照会	○
勤怠管理	—
システム連携ツール	—

SQL Server	2017	2019	2022	2025
統合会計	○	○	○	○
電債管理システム	—	—	—	—
手形管理システム	—	—	—	—
ファクタリングシステム	—	—	—	—
電債オプション	—	—	—	—
証憑管理オプション	—	—	—	—
証憑管理e文書対応オプション	—	—	—	—
スーパーインターフェース	—	—	—	—
駅すばあとオプション	○	○	○	○
従業員モバイルオプション	○	○	○	○
AI-OCR(請求書)	○	○	○	○
AI-OCR(請求書明細)	○	○	○	○
銀行マスタAPI	○	○	○	○
取引先マスタAPI	○	○	○	○
銀行口座API	○	○	○	○
デジタルインボイスオプション	○	○	○	○
固定資産管理	○	○	○	○
建設仮勘定管理オプション	○	○	○	○
グループ経営管理				
集計DBサーバ	—	—	—	—
DBサーバ	—	—	—	—
人事管理/給与管理	—	—	—	—
銀行マスタAPI	—	—	—	—
人事諸届・照会	—	—	—	—
勤怠管理	—	—	—	—

- ※1 Oracle Databaseにおいて、「ORA-01652: 一時セグメントを拡張できません(xxx分、表領域xxxxx)。」のエラーが発生した場合、下記の初期パラメータを変更してください。
SQL*Plusでの実行例) SQL> alter system set "_with_subquery"='inline' ;
なお、当パラメータを変更した場合、DataPumpの実行に失敗する場合があります。(Oracle Doc ID 2882098.1)
DataPumpはSuperStream-NX/バックアップツールでも実行しています。
メンテナンス等にてDataPumpを実行する場合には、Oracle Docに従い当パラメータを初期値に戻してください。
- ※2 GACへのアセンブリ登録およびODP.NETのmachine.configへの登録を行う必要があります。(詳細はインフラガイド参照)
- ※3 プラガブルデータベースは非対応となります。

■アプリケーションサーバOS

	Windows Server 2016	Windows Server 2019	Windows Server 2022	Windows Server 2025
統合会計	○	○	○	○
電債管理システム	○	○	○	○
手形管理システム	○	○	○	○
ファクタリングシステム	○	○	○	○
電債オプション	○	○	○	○
証憑管理オプション ※1	○	○	○	○※5
証憑管理e文書対応オプション ※1	○	○	○	○※5
スーパーインターフェース	○	○	○	○
駅すばあとオプション	○	○	○	○
従業員モバイルオプション	○	○	○	○
AI-OCR(請求書)	○	○	○	○
AI-OCR(請求書明細)	○	○	○	○
銀行マスタAPI	○	○	○	○
取引先マスタAPI	○	○	○	○
銀行口座API	○	○	○	○
デジタルインボイスオプション	○	○	○	○
固定資産管理	○	○	○	○
建設仮勘定管理オプション	○	○	○	○
グループ経営管理				
APサーバ ※2	○	○	○	○
Agent	○	○	○	○
モバイル(Windows版)	—	—	—	—
人事管理/給与管理	○	○	○	○
銀行マスタAPI	○	○	○	○
人事諸届・照会 ※3	○	○	○	○
勤怠管理	—	—	—	—
システム連携ツール	—	—	—	—
帳票出力エンジン SVF	○※4	○※4	○※4	○※4

※1 .NET Framework 3.5 が必要です。

※2 サーバ上で画面参照やインストール作業をおこなう場合、Google Chrome、またはMicrosoft Edgeが必要です。

※3 OSIによって使用できるWebLogic Serverのバージョンが異なります。詳細はOracleサポートページをご確認ください。

※4 JAVA11への入れ替えが必要です。Eclipse Temurin JDK(旧AdoptiumOpenJDK) with Hotspot 11 でのみ動作を確認しています。
(11.0.29以上を推奨)

※5 QRコード認識・ファイル分割プログラムはご利用いただけませんが、その他の機能については通常通りご利用いただけます。

■クライアントOS ※1

	Windows 11 ※2
統合会計	○
電債管理システム	○
手形管理システム	○
ファクタリングシステム	○
電債オプション	○
証憑管理オプション	○
証憑管理e文書対応オプション	○
スーパーインターフェース	○
駅すばあとオプション ※3	○
従業員モバイルオプション	—
AI-OCR(請求書)	○
AI-OCR(請求書明細)	○
銀行マスタAPI	○
取引先マスタAPI	○
銀行口座API	○
デジタルインボイスオプション	○
固定資産管理	○
建設仮勘定管理オプション	○
グループ経営管理	
DBサーバ	—
Administrative Tools	○
Development Kit	○
Cloud Hub Server	—
APサーバ	
Agent	○
モバイル(Windows版)	○
人事管理/給与管理	○
銀行マスタAPI	○
人事諸届・照会	○
勤怠管理	○
システム連携ツール	○

※1 タッチパネル機能付きPCでは、マウス操作のみ動作確認済みです。

※2 Windows 11の年次毎の機能リリースについては、リリース後一定期間後に動作確認を行います。
動作確認の結果は別途アナウンスいたします。

※3 TLS1.2のみに対応しています。

■クライアント(リモートデスクトップサービス(Windows Server))OS ※1

	Windows Server 2016	Windows Server 2019	Windows Server 2022	Windows Server 2025
統合会計	○	○	○	○
電債管理システム	—	—	—	—
手形管理システム	—	—	—	—
ファクタリングシステム	—	—	—	—
電債オプション	—	—	—	—
証憑管理オプション	○	○	○	○
証憑管理e文書対応オプション	○	○	○	○
スーパーインターフェース	—	—	—	—
駅すばあとオプション ※2	○	○	○	○
従業員モバイルオプション	—	—	—	—
AI-OCR(請求書)	○	○	○	○
AI-OCR(請求書明細)	○	○	○	○
銀行マスタAPI	○	○	○	○
取引先マスタAPI	○	○	○	○
銀行口座API	○	○	○	○
デジタルインボイスオプション	○	○	○	○
固定資産管理	○	○	○	○
建設仮勘定管理オプション	○	○	○	○
グループ経営管理				
集計DBサーバ	—	—	—	—
DBサーバ	—	—	—	—
Administrative Tools	—	—	—	—
Development Kit	—	—	—	—
Cloud Hub Server	—	—	—	—
インメモリサーバ	—	—	—	—
APサーバ	—	—	—	—
Agent	—	—	—	—
モバイル(Windows版)	—	—	—	—
人事管理/給与管理	○	○	○	○
銀行マスタAPI	○	○	○	○
人事諸届・照会	—	—	—	—
勤怠管理	—	—	—	—
システム連携ツール	—	—	—	—

※1 タッチパネル機能付きPCでは、マウス操作のみ動作確認済みです。

※2 TLS1.2のみに対応しています。

■Web(アプリケーション)サーバ(Internet Information Services (IIS))※1

	10
統合会計	○
電債管理システム	○
手形管理システム	○
ファクタリングシステム	○
電債オプション	○
証憑管理オプション	○
証憑管理e文書対応オプション	○
スーパーインターフェース	○
駅すばあとオプション	○
従業員モバイルオプション	○
AI-OCR(請求書)	○
AI-OCR(請求書明細)	○
銀行マスタAPI	○
取引先マスタAPI	○
銀行口座API	○
デジタルインボイスオプション	○
固定資産管理	○
建設仮勘定管理オプション	○
グループ経営管理	—
集計DBサーバ	—
DBサーバ	—
インメモリサーバ	—
APサーバ	—
人事管理/給与管理	○
銀行マスタAPI	○
人事諸届・照会	—
勤怠管理	—
システム連携ツール	—

※1 HTTPバージョン1.0以下の環境では動作しませんのでご注意ください。

■Web(アプリケーション)サーバ(Oracle WebLogic Server, Apache Tomcat)

	Oracle WebLogic Server			Apache Tomcat	
	12.2.1.4	14.1.1.0	14.1.2.0	9.0.95	9.0.112
統合会計	—	—	—	—	—
電債管理システム	—	—	—	—	—
手形管理システム	—	—	—	—	—
ファクタリングシステム	—	—	—	—	—
電債オプション	—	—	—	—	—
証憑管理オプション	—	—	—	—	—
証憑管理e文書対応オプション	—	—	—	—	—
スーパーインターフェース	—	—	—	—	—
駅すばあとオプション	—	—	—	—	—
従業員モバイルオプション	—	—	—	—	—
AI-OCR(請求書)	—	—	—	—	—
AI-OCR(請求書明細)	—	—	—	—	—
銀行マスタAPI	—	—	—	—	—
取引先マスタAPI	—	—	—	—	—
銀行口座API	—	—	—	—	—
デジタルインボイスオプション	—	—	—	—	—
固定資産管理	—	—	—	—	—
建設仮勘定管理オプション	—	—	—	—	—
グループ経営管理	—	—	—	—	—
集計DBサーバ	—	—	—	—	—
DBサーバ	—	—	—	—	—
インメモリサーバ	—	—	—	—	—
APサーバ	—	—	—	○	—
人事管理/給与管理	—	—	—	—	—
銀行マスタAPI	—	—	—	—	—
人事諸届・照会	○	○	○	—	○
勤怠管理	—	—	—	—	—
システム連携ツール	—	—	—	—	—

■ブラウザ

※1 ※2	Google Chrome	Microsoft Edge ※5	Mozilla Firefox
統合会計			
SVF ※3	—	○	—
マニュアル検索サイト	○	○	—
ライセンスファイルダウンロードサイト	○	○	—
証憑管理オプション	○	○	—
証憑管理e文書対応オプション	○	○	—
銀行口座API	○	○	—
固定資産			
SVF ※3	—	○	—
マニュアル検索サイト	○	○	—
ライセンスファイルダウンロードサイト	○	○	—
人事管理/給与管理			
SVF ※3	—	○	—
マニュアル検索サイト	○	○	—
ライセンスファイルダウンロードサイト	○	○	—
人事諸届・照会 ※4	○	○	○
電子申請	○	○	—
シングルサインオン(Azure AD)	○	○	○
勤怠管理	○	○	○
システム連携ツール	○	○	—
グループ経営管理			
APサーバ ※7	○	○※6	—

※1 ブラウザを使用する機能と各ブラウザでの動作保証を記載しています。

※2 デスクトップモードでの動作確認を行っています。

※3 製品本体の動作にはブラウザーは使用しません。SVFの環境設定でのみ使用します。

※4 1台のPC上で複数のブラウザーやタブを起動し、SuperStream製品(対象製品)を同時に利用(動作)することは避けてください。

※5 Internet Explorer (IE) モードは対象外です。

※6 Google Chromeを推奨しています。

※7 ブラウザーの保護モードには対応していません。保護モードを無効にして利用してください。

■従業員モバイルオプション OS・機種

※1 ※2 ※3	iOS 26.2 iOS 18.3	Android 16 Android 15
----------	----------------------	--------------------------

iPhone ※4 ※5		
SE (第2世代)	○	—
12 Pro Max	○	—
14 Pro	○	—
Android ※4 ※5		
Google Pixel 6Pro	—	○
Google Pixel 10	—	○

- ※1 出荷されているOSの最新2バージョンが動作確認済み環境になります。
OSに合わせて対応機種も変動します。
最新OSの動作確認はメジャーバージョンアップはリリース後一定期間後に動作確認を行います。動作確認の結果は別途アナウンスいたします。
マイナーバージョンアップについては年2回、基本6月と12月時点での最新バージョンについて検証を行います。
- ※2 本動作確認対象のSuperStream-NX統合会計のバージョンはVer.2.8.0です。
- ※3 タブレットは対象外です。
- ※4 e文書対応オプション利用時には、カメラの解像度が387万画素以上である必要があります。
- ※5 記載されている機種で動作確認を行っています。
全ての機種、OSの組み合わせで動作を保証するものではありません。

■グループ経営管理モバイル OS・機種

※1 ※2	iOS 12以降 ※3	iPadOS 13以降
iPhone ※4	○	—
iPad mini ※5	—	○
iPad Air ※6	—	○

- ※1 全ての機種、OSの組み合わせで動作を保証するものではありません。
- ※2 表示するコンテンツによってメモリ使用量は変動します。よりメモリ搭載量の多い端末を推奨します。
- ※3 iOS 13以降を推奨します。
- ※4 iPhone 7以降を推奨します。
- ※5 iPad mini 2以降 iPad mini 第5世代以降を推奨します。
- ※6 iPad 第6世代以降を推奨します。

■その他

—

2026-06-01版 SuperStream-NX 稼働環境（Cloud）

2026年8月3日

各クラウド環境上でSuperStreamの基本動作は確認済みです。下表の凡例 ○:稼働可能 ー:対象外
各環境独自で生じた製品問題はサポート対象外となります（OnPremise環境では発生しない問題）。
各サービスに関する質問は、各サービス提供元のサポートセンターへお願いします。

■基本動作確認環境 ※1

	Amazon ※2		Microsoft Azure ※5※6	Oracle Cloud ※2	
	EC2	RDS for Oracle (DBサーバ) ※3※4		Compute	BaseDB (DBサーバ) ※4
統合会計	○	○	○	○	○
電債管理システム	○	○	○	○	○
手形管理システム	○	○	○	○	○
ファクタリングシステム	○	○	○	○	○
電債オプション	○	○	○	○	○
証憑管理オプション ※7 ※8	○	ー	○	○	ー
証憑管理e文書対応オプション※7※8	○	ー	○	○	ー
スーパーインターフェース	○	○	○	○	○
駅すばあとオプション	○	○	○	○	○
従業員モバイルオプション	○	○	○	○	○
AI-OCR(請求書)	○	○	○	○	○
AI-OCR(請求書明細)	○	○	○	○	○
銀行マスタAPI	○	○	○	○	○
取引先マスタAPI	○	○	○	○	○
銀行口座API	○	○	○	○	○
デジタルインボイスオプション	○	○	○	○	○
固定資産管理	○	○	○	○	○
建設仮勘定管理オプション	○	○	○	○	○
グループ経営管理 ※9	○	○	○	○	○
人事管理/給与管理	○	○	○	○	○
銀行マスタAPI	○	○	○	○	○
人事諸届・照会 ※10	○	○	○	○	○
勤怠管理	ー	ー	ー	ー	ー
システム連携ツール ※11	○	○※12	○	○	○※12

※1 仮想サーバのWindowsがMulti Languageの場合、日本語化へ設定を変更してください。

※2 APサーバーとDBサーバーのタイムゾーンは一致させてください。

※3 RDSへの接続ではOracle Instant Clientは対象外となります。

※4 Oracle 19.30で動作検証を行っています。

※5 Microsoft Azureのアイドルタイムアウト設定は、デフォルトが4分であり、最大30分まで設定できるようになっています。
必要に応じて、タイムアウトの時間を変更してください。
また統合会計・固定資産管理・人事管理・給与管理(オプション製品含む)は、サービス非同期設定に変更することでタイムアウトが発生しなくなるため、
長時間になる処理は非同期設定を行ってください。人事諸届・照会、およびグループ経営管理はタイムアウトに対応できないため、30分以上の処理は対応できません。

※6 Azure SQL Database には対応していません。

※7 パブリッククラウド環境での利用は対象外になります。
プライベートクラウド環境で利用する場合は、サーバー上に作成したPDFファイル格納用フォルダに、
社内LANからVPN接続にてアクセスできるようにしておく必要があります。

※8 .NET Framework 3.5が必要です。

※9 グループ経営管理製品ではSSLに対応していないため、VPNもしくは専用線の利用を推奨しています。

※10 パブリッククラウド環境での利用は対象外になります。

※11 クラウド環境でシステム連携ツールを利用する場合、VPNもしくは専用線接続での利用をお勧めします。

※12 リポジトリDBとして利用可能です。

■各種ツールのAmazon RDS for Oracle、Oracle Cloud BaseDB環境の注意点

統合会計、固定資産管理、建設仮勘定管理オプション

バックアップツール	バックアップツールを利用するには、別途Windows環境にOracle Databaseのインスタンスが必要です。(詳細はインフラガイド参照)
データベースインストーラ	APサーバからインストーラを実行してください。環境登録時に作成されたDB管理アカウントを利用してログインしてください。事前にSQLPlusなどから表領域を作成しておき、DBインストーラでは[作成済みの表領域を使用する]にチェックを付与して対応します。
バッチ処理ツール	OSの画面操作ができないため、APサーバで実行してください。
ワークフローデータ退避／削除ツール	Oracleのエクスポート・ユーティリティ(exp)を利用できない環境では利用できません。

人事管理、給与管理、人事諸届・照会

バックアップツール	バックアップツールを利用するには、別途Windows環境にOracle Databaseのインスタンスが必要です。(詳細はインフラガイド参照)
データベースインストーラ	APサーバからインストーラを実行してください。環境登録時に作成されたDB管理アカウントを利用してログインしてください。共通DBのDBインストーラでは、事前にSQLPlusなどから表領域を作成しておき、DBインストーラでは[作成済みの表領域を使用する]にチェックを付与して対応します。 人事給与のDBインストーラでは表領域作成画面で[Cloud DB環境]にチェックを付与して実行すると自動で表領域が作成されます。
バッチ処理ツール	OSの画面操作ができないため、APサーバで実行してください。

グループ経営管理

NX統合会計連携 (取込更新バッチ)	Oracle Instant Clientの場合、ODAC OUIとInstant Client Tools Package が必要です。 (19.3以降の64ビットのみ) ※Oracle Instant Client、SQL*Plus、SQL*Loader、Oracle Data Provider for .NETを使用します。
分析集計データベース インストーラ	GMDBサーバからインストーラを実行してください。環境登録時に作成されたDB管理アカウントを利用してログインしてください。

■その他

SuperStream-NX **SQL Server**版対応プロダクト

2026年8月3日

下表の凡例 ○:対応 - :対象外

■SQL Server版プロダクト別対応一覧

	SQL Server対応	非対応機能
統合会計	○	データ退避／復元、伝票グループ変換マスタ登録、外部データチェックリスト、外部データ連携、外部データ連携エラーリスト、テスト用会社複写ツール、ワークフローデータ退避／削除ツール
電債管理システム	-	
手形管理システム	-	
ファクタリングシステム	-	
電債オプション	-	
証憑管理オプション	-	
証憑管理e文書対応オプション	-	
スーパーインターフェース	-	
駅すばあとオプション	○	
従業員モバイルオプション	○	
AI-OCR(請求書)	○	
AI-OCR(請求書明細)	○	
銀行マスタAPI	○	
取引先マスタAPI	○	
銀行口座API	○	
デジタルインボイスオプション	○	
固定資産管理	○	
建設仮勘定管理オプション	○	
グループ経営管理	-	
人事管理/給与管理	-	
銀行マスタAPI	-	
人事諸届・照会	-	
勤怠管理	-	
システム連携ツール	-	

SuperStream-NX プロダクト別バージョン組み合わせ

2026年8月3日

■プロダクト別バージョン組み合わせ					
	2022-06-01版	2023-06-01版	2024-06-01版	2025-06-01版	2026-06-01版
NXシステム共通	2.5.x	2.6.x	2.7.x	2.8.x	2.9x
統合会計	2.5.x	2.6.x	2.7.x	2.8.x	2.9.x
統合会計モバイル	25.0.x	26.0.x	27.x.x	28.x.x	29.x.x
固定資産管理	2.5.x	2.6.x	2.7.x	2.8.x	2.9.x
グループ経営管理	2.5.x	2.6.x	2.7.x	2.8.x	2.9x
給与管理	2.50.x	2.60.x	2.70.x	2.80.x	2.90.x
人事管理	2.50.x	2.60.x	2.70.x	2.80.x	2.90.x
人事諸届・照会	2.50.x	2.60.x	2.70.x	2.80.x	2.90.x
システム連携ツール	4.3 SP2	4.4 SP1	4.4 SP3	4.5 SP1	4.5 SP1

変更履歴

更新日付	大項目	変更内容
2026/6/1	システム要件(統合会計・固定資産)	<データベースサーバ>Microsoft SQL Server 2025を追加しました。
		<データベースサーバ>Oracle Database の動作確認バージョンを19.30に変更しました。
		<アプリケーションサーバ>Microsoft Windows Server 2025を追加しました。
		<アプリケーションサーバ>帳票出力エンジンをSuper Visual Formade Ver.9.2 Service Pack 11に変更しました。
		<アプリケーションサーバ>帳票出力エンジンのJAVA入れ替えについて推奨バージョンを11.0.29以上に変更しました。
		<アプリケーションサーバ>Apache Tomcat_9.0.91パッチの同梱の説明を追加しました。
		<アプリケーションサーバ>Microsoft Windows Server 2016の期限と制約を追記しました。
		<アプリケーションサーバ>Microsoft Windows Server 2022の制約を追記しました。
		<アプリケーションサーバ>Microsoft Windows Server 2025の制約を追記しました。
		<クライアント>Windows10を削除しました。
		<クライアント>リモートデスクトップサービスにMicrosoft Windows Server 2025を追加しました。
		<クライアント>Microsoft Edge WebView2 Runtimeは必須となったため注意書きを変更しました。
	システム要件(人事給与)	<データベースサーバ>Oracle Database の動作確認バージョンを19.30に変更しました。
		<アプリケーションサーバ(人事・給与)>Microsoft Windows Server 2025を追加しました。
		<アプリケーションサーバ(人事・給与)>帳票出力エンジンをSuper Visual Formade Ver.9.2 Service Pack 11に変更しました。
		<アプリケーションサーバ(人事・給与)>帳票出力エンジンのJAVA入れ替えについて推奨バージョンを11.0.29以上に変更しました。
		<アプリケーションサーバ(人事・給与)>Apache Tomcat_9.0.91パッチの同封を追加しました。
		<アプリケーションサーバ(人事・給与)>Microsoft Windows Server 2016の期限を追記しました。
		<アプリケーションサーバ(人事・給与)>Microsoft Windows Server 2022の制約を追記しました。
		<アプリケーションサーバ(人事・給与)>Microsoft Windows Server 2025の制約を追記しました。
		<アプリケーションサーバ(人事諸届・照会)>Microsoft Windows Server 2025を追加しました。
		<アプリケーションサーバ(人事諸届・照会)>Oracle WebLogic Server 14.1.2.0を追加しました。
		<アプリケーションサーバ(人事諸届・照会)>アプリケーションサーバのバージョンをApache Tomcat 9.0.112に変更しました。
		<アプリケーションサーバ(人事諸届・照会)>Apache Tomcatを利用する場合に必要なJAVAの推奨バージョンを11.0.29以上に変更しました。
		<クライアント>Windows10を削除しました。
		<クライアント>リモートデスクトップサービスにMicrosoft Windows Server 2025を追加しました。
		<クライアント>必要なソフトウェアにMicrosoft Edge WebView2 Runtime を追加しました。
		<人事諸届・照会(モバイル版)OS・機種>iOS 18.3.1 をiOS 26.4 に変更しました。
		<人事諸届・照会(モバイル版)OS・機種>Android15 をAndroid16 に変更しました。
		<人事諸届・照会(モバイル版)OS・機種>タブレットについて注意書きに記載しました。
	システム要件(勤怠管理)	<クライアント>Windows10を削除しました。
		<モバイル>iOS17以降(iOS17、iOS18、iOS26)に変更しました。
		<モバイル>タブレットについて注意書きに記載しました。
	システム要件(グループ経営管理)	<分析集計データベース>名称が変更されたOracle Cloudのサービス名を更新しました。
		<分析集計データベース>Oracle Database の動作確認バージョンを19.30に変更しました。
		<データベースサーバ>必要なソフトウェアを見直しました。
		<インメモリサーバ(インメモリオプション利用時)>必要なソフトウェアを見直しました。
		<アプリケーションサーバ>必要なソフトウェアを見直しました。
		<クライアント>Windows 11の対応バージョンを変更しました。
	システム要件(システム連携ツール)	<サーバー・実行用クライアント>注意書きにWindows Server 2025には対応していない事を追記しました。
		<サーバー・実行用クライアント>今後、稼働環境から外れるOSを注意書きに記載しました。

更新日付	大項目	変更内容
2026/8/3	稼働環境(On Premise)	＜開発用クライアント＞今後、稼働環境から外れるOSを注意書きに記載しました。
		＜開発用クライアント＞ Windows 10を削除しました。
		＜開発用クライアント＞ Windows x86版を削除しました。
		＜リポジトリDB＞注意書きにMicrosoft SQL Server 2025 および Amazon RDS for SQL Server 2025 には対応していない事を追記しました。
		＜リポジトリDB＞Microsoft SQL Server 2016を削除しました。
		＜リポジトリDB＞IBM DB2 for Linux, UNIX, and Windows 11.1を削除しました。
		＜リポジトリDB＞PostgreSQL 14を削除しました。
		＜リポジトリDB＞PostgreSQL 13を削除しました。
		＜リポジトリDB＞今後、稼働環境から外れるDBを注意書きに記載しました。
		＜データベースサーバOS＞Microsoft Windows Server 2025を追加しました。
		＜DBMS＞Microsoft SQL Server 2025を追加しました。
		＜アプリケーションサーバOS＞Microsoft Windows Server 2025を追加しました。
		＜クライアントOS＞Windows10を削除しました。
		＜クライアント(リモートデスクトップサービス(Windows Server))OS＞Microsoft Windows Server 2025を追加しました。
		＜Web(アプリケーション)サーバ(Oracle WebLogic Server, Apache Tomcat)＞Oracle WebLogic Server 14.1.2.0を追加しました。
		＜Web(アプリケーション)サーバ(Oracle WebLogic Server, Apache Tomcat)＞人事諸届・照会で利用可能なApache Tomcatのバージョンを 9.0.112 に変更しました。
		＜従業員モバイルオプション OS・機種＞iOS 18.3, 17.7 を iOS 26.2, 18.3に変更しました。
		＜従業員モバイルオプション OS・機種＞Android 15, 14 を Android 16, 15に変更しました。
		＜従業員モバイルオプション OS・機種＞Google Pixel 4aを削除しました。
		＜従業員モバイルオプション OS・機種＞Google Pixel 10を追加しました。
		＜従業員モバイルオプション OS・機種＞タブレットについて注意書きに記載しました。
	稼働環境(Cloud)	＜基本動作確認環境＞Oracle Database の動作確認バージョンを19.30に変更しました。
	プロダクト別バージョン組み合わせ	＜プロダクト別バージョン組み合わせ＞2026-06-01版の列を追加しました。
		＜プロダクト別バージョン組み合わせ＞2021-06-01版の列を削除しました。
2026/8/3	システム要件(統合会計・固定資産)	＜アプリケーションサーバ＞Microsoft Windows Server 2025での、証憑管理オプションおよび証憑管理e文書対応オプションの利用制限を変更しました。
	稼働環境(On Premise)	＜データベースサーバOS＞電債管理システムを追加しました。
		＜データベースサーバOS＞Windows Server 2025の稼働対象に、証憑管理オプション、証憑管理e文書対応オプションを追加しました。
		＜DBMS＞電債管理システムを追加しました。
		＜アプリケーションサーバOS＞電債管理システムを追加しました。
		＜アプリケーションサーバOS＞Windows Server 2025の稼働対象に、条件付きで証憑管理オプション、証憑管理e文書対応オプションを追加しました。
		＜クライアントOS＞電債管理システムを追加しました。
		＜クライアント(リモートデスクトップサービス(Windows Server))OS＞電債管理システムを追加しました。
		＜Web(アプリケーション)サーバ(Internet Information Services (IIS))＞電債管理システムを追加しました。
		＜Web(アプリケーション)サーバ(Oracle WebLogic Server, Apache Tomcat)＞電債管理システムを追加しました。
	稼働環境(Cloud)	＜基本動作確認環境＞電債管理システムを追加しました。
	SQL Server版対応プロダクト	＜SQL Server版プロダクト別対応一覧＞電債管理システムを追加しました。